

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場

第43号
2025年9月25日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 森久保操



太鼓よ響け！ まつりは最高潮

昨年のような台風再来を懸念しながら、本番当日を迎えましたが、熱気あふれる楽しい夏まつりとなりました。エレキバンド「aged super moon」の演奏に始まり、「JAフラメイツ」のフラダンス、フオークソンググループの「ふれんず」と続き、会場の熱気は徐々に盛り上がり、最後の霊山太鼓演奏と大盆踊り大会では会場の雰囲気は最高潮でした。

健康スタジオでは、恒例になりつつある子どもひろばが開催され、たくさんの子どもたちが輪投げ、ボウリング、射的に興じていました。

掛田の夏まつりを終えて

なんとといってもおまつりでの楽しみは、空いたおなかを満たしてくれるキッチンカー。今年も様々な業者さんのお陰で、玄関前は美味しいういすのイベント広場となりました。

嬉しいことに500名を超えるお客様が来場して掛田の夏まつりを楽しんで頂いたと思います。ここで掛田を元気にするという目標は、達成できたように考えます。



掛田の夏まつり

「子どものひろば」を担当しました

掛田の夏まつりが8月16日(土)に開催されました。

私は子どものひろばを担当しました。昔ながらの輪投げ、射的、ボウリングを100円で3回挑戦できます。点数などにより、お菓子、おもちゃ等の景品が貰える楽しいゲームです。

沢山の子ども達が来場し、始まる時間が待ち遠しい姿に予定時間を繰り上げ開始しました。

子ども達はキラキラした目で何回も何回も挑戦して、私達も元気な子ども達に圧倒



ハイ！がんばってえ。いい所 当てなよ。子どもボランティアさんもお手伝い。



されるやら嬉しいやらで時間が過ぎるのが早く感じました。

近くの老人介護施設(孝の郷)の皆さんもゲームに参加。喜んで景品をお持ち帰り頂きました。

子どものひろばをお手伝いして頂いたスタッフの皆さんお疲れ様でした。

掛田の夏まつり「子どものひろば」
担当 菅野 正二

～ イベントのお知らせ ～

- 令和7年前期自衛消防訓練
9月25日(木) 14:00～14:45
会場：霊山中央交流館
- 第3回ふくしま三大鶏フェス
9月27日(土)・28日(日) 10:00～17:00
会場：保原総合公園
- 第41回霊山太鼓まつり
9月28日(日) 9:00～17:00
会場：保原総合公園
- りょうぜんマルシェ実行委員会
「子ども食堂・おいでよ」
10月18日(土)、11月29日(土)、12月20日(土)
11:30～ 無くなるまで
場所：霊山中央交流館
- JA女性部「よりそい食堂・りょうぜん」
10月11日(土)、12月13日(土) 11:30～
場所：JAふくしま未来みらいホールかけだ

■ 霊山町文化祭 (霊山町文化団体連絡協議会)

11月1日(土)
オープニングセレモニー 9:00～
芸能発表 10:15～
場所：霊山中央交流館 大ホール
11月1日(土)・2日(日)
作品展 1日(土) 9:00～16:00
2日(日) 9:00～14:00
場所：霊山体育館

■ シルバー作品展 (霊山町老人クラブ連合会)

11月1日(土)・2日(日)
作品展 1日(土) 9:00～16:00
2日(日) 9:00～12:00
場所：霊山体育館

■ 囲碁大会

10月26日(日) 9:00～14:00
参加費 500円(子供無料)
場所：霊山中央交流館 会議室

■ お正月リースづくり

12月20日(土) 11:30～
場所：霊山児童館

お問い合わせ先 霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

あなたの作品を 展示してみませんか？

霊山町文化団体連絡協議会(以下文連協)では、11月1日(土)・2日(日)に行われる「第52回霊山町文化祭」で展示希望の方の作品を募集します。あなたが自身が製作された作品を出展してみませんか。なお、出展料として2千円を徴収させていただきます。



お問合せ・申込みは文連協事務局(斎藤美和 090-4538-7440)にご連絡ください。
霊山町文化団体連絡協議会事務局 斎藤 美和

子ども食堂 おいでよ！



今回8月30日(土)の子ども食堂は、伊達市ケーブルテレビの取材が入りました。調理ボランティアの皆さんは、緊張することなく普段通りにスムーズに調理されていて頼もしく思



運営 りょうぜんマルシェ実行委員会
子ども食堂おいでよ！の開催予定日はイベントのお知らせをご覧ください
料金 大人 300円
子ども(高校生まで) 100円
未就学児 無料

いました。地域の方々から、なす、ピーマン、キュウリを沢山いただきました。たつぷりのメニューとなりました。フードドライブで提供いただく食品やお米の配布も皆さんに大変喜ばれております。

これからも栄養のある食事や温かな団欒の場を提供していきたいと思っております。どうぞ、お気軽にお越しください。

編集後記

令和5年に「掛田の歴史ガイド」が発刊されて2年が過ぎた。神社仏閣のみならずひっそりと佇む鎮守様。伝え続けられて消えてしまっている掛田の歴史。掛田の広場第39号では齋藤書司様に「岩崎の清水」について書いて頂いた。

車で通れば何も無かったような景色。しかしそこには昔、学校帰りに通る道を満ちた静かに湧き出る清水が今もあつた。養蚕の糸取り用に良質の水だった清水が有ることを知る人は少ない。

43号では段居にあった「ライオン園業工業KK」について、記憶が残る人に聞くのは今しかない、近隣に在住の八島先生なら覚えていかなと聞いてみた。

驚いた。当時の事を昨日の日のように年代まで思い出と一緒にスラスラとお話してくださった。内容は誌面に書かれた通りだが、消えてしまっている掛田の歴史をこれからも伝えていきたいと改めて感じた。

災害はいつ起こるかわかりません。 できる備えを万全にしましょう!!



災害時、自治体の支援には限界があります。
特に発災直後には、自分の身は自分で守る「自助」、
地域で助け合う「共助」が大事になります。
今回は、「自助」の取り組みの一部を紹介します。



1 情報を得る

「緊急情報を適切に受け取る」、「今後の災害を予測する」ために普段から情報を得る手段を確認しておきましょう。
「伊達市公式アプリ」では防災マップ(Web版)や気象情報のホームページなどのリンクがあります。

- 伊達市公式アプリ(だてなび) ←スマートフォンの方はこちら
- 伊達市登録制メールシステム ←ガラケーの方はこちら
- 伊達市防災行政無線 など

ダウンロードは
こちらから▶



2 備える

普段から避難時に持ち出すものをまとめて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。また、避難直後には避難所に食料が十分に行き渡らない場合もあります。備蓄食料は、最低3日分程度は準備しておきましょう。

種類	非常持ち出し品(例)
食料	非常食、水
衣類	レインコート、下着、毛布
防災用品	携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、ホイッスル、ヘッドライト、電池交換式バッテリー
日用品	タオル、歯ブラシ・液体歯磨き、生理用品、携帯トイレ、ポリ袋・レジ袋
衣料品	常備薬、救急セット

3 マイ避難を考える



(伊達市市民生活部防災危機管理課 024-575-1197)

第6回映画祭 上映作品「旭山動物園物語」

来園者が減り続け、閉園の危機に瀕した動物園。それでも、園長や飼育員たちは諦めなかった。静かな雪の降る旭山の地に、命の輝きを取り戻した場所。それが旭山動物園でした。
動物たちの本来の姿を見せたい、その一心で「行動展示」という新たな挑戦に踏み出し、ペンギンが空を飛ぶように泳ぐ姿、ゴリラが感情を見せる瞬間。それは檻の中の動物ではなく、「生きている存在」としての彼らだった。苦難の中でも希望を捨てず、創意工夫を重ねていく

この映画は、ただの動物園の物語では無く、それは夢を信じる、その大切さ、そして人と動物の間にある深い絆を伝えてくれる物語だったと思います。
社会教育部会 小松田道雄



と謝辞を述べられました。
続いて「祝う会が行われ、サークル「おはなしお母さん」による「ふつくらふしぎなおくりもの」という題の創作絵本の朗読がありました。
そしてM&Mジョイユ(丹治睦雄さん・美樹子さんご夫婦)のギターとオカリナの演奏では、懐かし「川の流れるように」ののちの歌などを演奏しました。
会場には奥様方へのインタビュも行われ、それぞれ地域と共に歩んできた自分たちの50年を振り返りながら、今後夫婦仲良く元気で過ごしていきたいと話されていました。
旭山町老人クラブ連合会 八島 豊吉

半世紀の歩みたたる 金婚夫婦表彰式及び祝う会

9月3日(祝)旭山中央交流館において、『金婚夫婦表彰式及び祝う会』が行われ、結婚50年を迎えた12組のご夫婦(出席は8組)をたたえました。毎年福島民報社と旭山町老人クラブ連合会の主催で行われています。代表として高野金助さん・すみ子さん夫婦に表彰状とおしどり金メダルなどが贈られました。受賞者を代表して森久保操さん・津子さんが「仕事としての旭山町」を語り、旭山町に勤しむ人々の功績をたたえ、旭山町に定住したことを喜びました。旭山町に定住したことを喜びました。旭山町に定住したことを喜びました。

掛田の歴史

「ペニシリン工場跡地のいづみ」

太平洋戦争末期(1944年)、現霊山総合支所とその西側に通称ライオン製薬を中心とするペニシリン工場が戦火を逃れて建設された。同時に医学・薬学関係職員が多くが移住した。
当時の賃貸住宅がなく、木造旅館や比較的小規模な民宅に下宿した。我が家八島家もその一つであった。ペニシリンは最初の抗生物質で腐敗(葡萄球菌)を抑制する特効薬として戦場で大いに用いられた薬である。段居工場内では多くのシャワーが並び、中にはゼリー状の物がアオカビを培養し、アルコールの匂いが充満していたのを記憶している。3、4年後にはアルコールから引火して火災となり、工場はJR伊達駅西側に移転したため、町内の職員も多くが移住した。



「※掛田の歴史ガイド」に収録されたライオン製薬工場の写真は伊達工場のものである。
明正寺 八島 利幸

筑西市 観音寺を訪ねて

7月15日(祝)、霊山町郷土史研究会は伊達氏のルーツを求めて茨城県筑西市観音寺を訪ねました。参加者は会員の他、歴史の好きな方たちを含め47名が大型バスで訪問。筑西市の副市長、議長をはじめ大歓迎を受けました。
伊達氏(初代朝宗、2代宗村)ゆかりの常陸の国伊佐城跡は現在観音寺の境内になっており、また、南北朝時代の南朝方について伊達氏7代行朝も参戦。行朝の供養塔が納められて、西市は今年2月2日に友好交流協定締結をしております。
次に、ザ・ヒロサワ・シテイに向かい、隈研吾氏設計の廣澤美術館を見学しました。日本の著名な芸術家の陶芸・日本画・彫刻等が常設展示。さらに企画展示鑑賞できます。筑波山のふもとに広がる百万㎡の広さの敷地には、クラシックカー、バイクミュージアム、レールパーク(鉄道車両、ゴルフ場など、時間の都合ですべての見学はできませんでしたが、次の機会には寄ってみたいものです。最後に、北関東最大級の「道の駅グランテラス筑西」に立ち寄り帰途につきました。
霊山町郷土史研究会 高野 栄喜

